

光市立三井（みい）小学校で4年生が森林体験学習を実施！

令和5年11月17日（金）、光市立三井小学校の体育館で、4年生児童32名を対象に、森林の話及び、木のオブジェ作りの「森林体験学習」を実施しました。

この取組は、次代の担い手となる子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の役割などへの理解を深めてもらうことを目的として、光市林業研究会（会長：森戸芳史、会員23名）が実施したものです。

体験の1つ目は、林研会員による森林のお話です。地球温暖化防止対策として、温室効果ガスの削減、森林の二酸化炭素吸収の話をしました。

2つ目は、木工体験です。まず、林研会員から安全なノコギリの使い方のコツを教わり、ノコギリを使って木の枝を切りました。

次に、グルーガンを使って支柱に木の枝を貼り付け、児童らは、思い思いにオブジェを作りました。

なかなかイメージがつかめず、何度も見本と自分の作品を行き来する児童もいました。普段したことのない、自由な発想で立体の完成形をイメージするという事は、とても難しく、時間がかかるようでした。

「あと1時間、続きをしたい！」と言う児童もおり、皆、それぞれに木工体験を楽しんでいました。



地球温暖化防止対策の勉強



なにができるかな